

緊急
決定!

音楽の都ウィーン 伝統の継承者

ウィーン国立歌劇場、そして
ウィーン・フィルの新コンサートマスター25歳
衝撃の初来日!

ヤメン・サーディ
ヴァイオリン・リサイタル

ウィーン・フィルの“顔”
となる日もすぐそこに!

絶対満足!
王道のプログラムで魅了!

ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ第2番
R.シュトラウス:ヴァイオリン・ソナタ
プーランク:ヴァイオリン・ソナタ

沢木良子(ピアノ)

2023

11.22^③

19:00開演 (18:30 開場)

● 浜離宮朝日ホール (大江戸線「築地市場駅」すぐ)

※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。
託児サービスをご利用くださいませ。

託児サービ
スのご予約

イベント託児・マザーズ
0120-788-222

全席指定 4,800円 [枚数限定SS席 8,000円]

チケット取り扱い

■ 朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く 10:00-18:00)

<https://asahihall-ticket.jp/>

■ チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード 247655)

主催: 朝日新聞社 / 浜離宮朝日ホール / オフィス山根

協力: ミュージックパートナーズ

お問合せ: オフィス山根 contact@officeyamane.net

公演詳細
および
ご予約は
こちらから



ボスコフスキー、バリリ、キュッヒル、ヒンク、ホーネックら 歴代の名コンサートマスターたちから脈々と伝えられる ウィーン・フィル“唯一無二の”伝統芸術！

昨年10月、世界の音楽界に衝撃のニュースが走った。ウィーン国立歌劇場に新しく「25歳の」コンサートマスターが入ったというのだ。しかも若いとはいえコンサートマスターとしての経験は長い。17歳の時よりバレンボイム率いるウェスト＝イースタン・ディヴァン管のコンサートマスターを務めていたのである。またサーディはすでにウィーン・フィルでもコンサートマスターとしての役割を担っており、ウィーン・フィルの“顔”となる日も近い。黄金の“ウィーンの伝統”を継承する才能を誰よりも早く目撃だ！



ヤメン・サーディ (ヴァイオリン) Yamen Saadi, violin

25歳にして2022/23シーズンよりウィーン国立歌劇場管弦楽団とウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターに就任。ソリストとして、室内楽奏者として多忙なキャリアを送っており、ベルリンのモルゲンポスト紙に「魅惑のサウンド」と評された。2022年5月にはレオニダス・カヴァコス の代役としてイスラエル・フィルにソリストとしてデビューを果たす。落ち着きあるリリシズム、そしてその若さからは想像できない技術と優雅さを併せ持つ。これまでにソリストとしてシュターツカペレ・ベルリン、イスラエル・フィル、ヨーロッパ室内管、ポーランド国立放送響、バレンシア管弦楽団、クレメラータ・バルティカ、ハーバード管、ガリラヤ室内管、エルサレム響などと共演し、ダニエル・バレンボイム、ローレンス・フォスター、レオニダス・カヴァコス、ヤロントラウブ、クリストフ・

ポップペンなどの指揮者と共演している。カーネギーホール、ラインガウ音楽祭、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭、エルサレム音楽祭、シュロス・エルマウなどヨーロッパ、アジア、アメリカの様々な音楽祭やコンサートホールで演奏をしてきた。

2022年1月にはブルーノ・マゼルの作品をピアニストのナタリア・ミルシテインと収録した初のリサイタルアルバム『Voices From Paris』をリリース。この録音は、「名人芸、叙情性、抑制された表現力が完璧にブレンドされている」、「素晴らしいしなやかさ、柔軟性、細かく幅広いダイナミックレンジ」などと絶賛された。

ナザレに生まれ、同地のバレンボイム＝サイード音楽院でヴァイオリンを学び始める。その後、イスラエル・フィルのコンサートマスター、

チャイム・タウブの指導を受け、11歳でウェスト＝イースタン・ディヴァン管に入団し、17歳で同オーケストラのコンサートマスターに就任。バレンボイム・サイード・アカデミーで学士号を取得するとクロンベルク・アカデミーでミハエラ・マーティンに師事し、修士号を取得した。2020年にはアビブ・コンクールおよびポール・ベン・ハイム・コンクールの両方で優勝する。また、アメリカ＝イスラエル文化財団およびプリンス・フォン・ヘッセン賞より奨学金を授与されている。室内楽奏者としても活躍しており、設立に関わったピアノ五重奏団キャンティアン・サンプルでヨーロッパ全土をツアーしている。2022年このアンサンブルは権威あるKersjes賞を受賞した。1734年製のストラディヴァリウス「Ex Lord Amherst of Hackney, Ex Fritz Kreisler」を使用している。



沢木良子 (ピアノ) Ryoko Sawaki, piano

桐朋女子高等音楽学校音楽科卒業、同年渡仏。パリ国立高等音楽院ピアノ科を最優秀で、室内楽科を満場一致の最優秀で卒業。同時にエクリチュール科に於いて高等ディプロム取得。2000年文化庁在外芸術家研修員となり更に研鑽を積む。1989年、1994年PTNAピアノコンペティション金賞受賞、サンマリノ音楽祭に招待。1999年Forum de Normandie室内楽コンクールにて3位入賞、2002年ブルガリア・アルペール・ルーセル国際コンクール3位入賞、翌年ヴィットリオ・ガイ国際室内楽コンクール、ファイナリスト。同年講習会先のイスラエルにて最優秀ロマン派演奏賞受賞。2006年帰国後はソロリサイタルを開催、またPMF (パシフィックミュージックフェスティバル in 札幌) の公式ピアニストを務め、ベルリンフィルハーモニー管弦楽団やウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のメンバーと共演するなど、現在多方面で活動を展開している。